

令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 34号

令和6年12月20日(金)発行

校長 関根 崇史

保護者の皆様へ～冬休みを迎えるにあたって

長かった二学期が、あと少して終わり、子供たちが楽しみにしている冬休みが始まります。寒さに負けず、安全、健康で楽しい冬休みになることを願っています。

保護者、地域の皆様には、夏休み明けの9月から終業式までの間、大変お世話になりました。二学期は、修学旅行、社会科見学、校外学習、運動会、陸上記録会、持久走大会、三者面談、幼少中学校美術展、PTAボランティア活動(落ち葉拾い)等々、数多くの行事がありました。これらの活動に対して、協力や支援、温かい励ましの言葉をたくさんいただき、本当にありがとうございました。また、今学期はここまで、登下校中の交通事故が一件もなく、校内での大きな事故等もありませんでした。これもひとえに、日々子供たちの安全を見守り、声をかけてくださっている保護者や地域の皆様のお陰だと感謝しています。

さて、子供たちは冬休みを各家庭や地域の中で過ごすことになります。そこで、保護者の皆様に以下のようなことをお願いします。

①金銭の管理

年末年始は、お年玉などでたくさんのお金をもらう子供が多くなります。お金をめぐる友達とのトラブル、恐喝等の被害を受ける事件が起こりやすい時期です。ご家庭で、お金の使い方や管理のしかたを話し合うとともに、お金の貸し借りや、おごったりおごられたりをしていないことを確認しておいてください。また、多額のお金を持って、子供たちだけで出かけたり、ショッピングモール等に出入りしたりすることがないように、ご指導をお願いします。

②家族の一員としての役割

冬休みは、日本の行事や伝統に触れることができる良い機会です。大掃除など、新年を迎える準備を家族と一緒にすることで、その仕事の意味を体感することができます。家族の一員として、自分にできる仕事を見つけさせたり、与えたりしてください。大人にとっては、かえって手間のかかる場合もありますが、家族の一員として協力する喜びと自信をもたせることにもなるはずです。

③規則正しい生活リズム

年末年始などは、ついつい夜更かしをしたくなり、生活リズムが大きく崩れてしまうことがあります。冬休みに夜型が身に付いてしまうと、冬休み明けに学校モードに戻るのが大変になり、それが学習意欲の低下につながってしまうことがあります。学校は休みであっても、起きる時間や寝る時間が大きくずれることがないように、規則正しい生活を送らせてください。

④安全に関する指導

子供たちだけで遅くまで外出していると、不審者等に遭遇する危険性も高まります。どこに行くのかを伝えてから外出する、決められた時間までに帰宅するなど、ご家庭で約束事を決めて、危険を回避できるようにしてください。さらに、交通事故は、大きなケガや命の危険に直結しますので十分に注意をしてください。自転車での事故は被害者になるだけでなく、加害者にもなり得ます。お子さんが自転車で出かけるときには、交通ルールを守ること、ヘルメットを着用することなどをご指導ください。

本年は大変お世話になり、ありがとうございました。冬休み中、子供たちが事故等に遭わず、元気に過ごしていけるよう、学校でも指導しますので、ご家庭でも繰り返し声をかけるようにお願いします。

来年も子供たちが、さらに大きく飛躍できるように、教職員一同努力を重ねていきたいと思っております。どうぞ、よいお年をお迎えください。

